

# 令和4年度各会計予算 に対する各会派等の

# 意見表(要旨)

## 自民党豊島区議団

令和4年度一般会計予算及び3特別会計予算並びに一般会計補正予算第1号に賛成。

4年度予算はコロナ禍であつても区民生活をしっかりと支える予算であるとともに、区制施行90周年を機に、本区を新たなステージへと躍進させる予算。

款別にみると総務費では、90周年事業の取組すべてがSDGsとつながっていること、の発信、子供達が様々な事業に関われる仕組みづくりを。区民費では、計画されている3つの区民ひろばの改修後、残りの区民ひろばの計画的改修を。環境清掃費では、いのちの森事業のコンセプトを区民と共有し、次の世代に継承を。都市整備費では、東池袋4・5丁目地区のまちづくりのワークショップ開催などにより、地域住民の意見を反映し、着実な整備の推進を。文化商工費では、積極的にマンガ・アニメをアピールし、聖地としてのイメージ確立を。特別会計の国民健康保険事業会計では、負担の公平性を着実に進め、国保財政の健全化を達成させることにより、今後も国民皆保険の維持を。

## 公明党

令和4年度一般会計予算及び3特別会計並びに補正予算第1号の認定に賛成。コロナ感染症対策を継続的に進め、暮らしと福祉を着実に支えるための堅実の予算編成であると評価する。

### 【主な意見と提案】

納税義務者の減少、区民の転入・転出の要因については、データ分析を行い定住率を高める施策を望む。SDGs推進のための条例を望む。女性デジタル人材育成の推進。ひきこもり施策は、幅広い観点からの支援を要望。障がい者移動支援の拡充。終活支援は、生涯地域で暮らし続けられる取組を。高齢者の健康支援の拡充。子宮頸がんワクチン接種勧奨復活や不妊治療保険適用拡大は、正確で丁寧な情報提供を望む。災害医療体制は災害時等に迅速な対応ができるよう体制整備を要望。建物・敷地等の適正な管理は、条例や法律を適正に運用されたい。ファミリー世帯の定住化促進のため家賃補助の拡充と親世代との近居等への新たな家賃補助を望む。高校生までの子ども医療費助成は所得制限で除外される子どもたちへ区での助成を望む。

## 都民ファーストの会民主

令和4年度一般会計予算及び3特別会計並びに一般会計補正予算第1号に賛成の立場から意見を述べる。

都民ファーストの視点、情報公開が十分か、賢い支出がなされているか、持続可能性があるかという4つの視点から審査。長期化するコロナ禍において、区民生活を支えるとともに、街づくりを進め、本区を更に発展させる予算と評価。

款別に見ると、防災分野のDXの活用を。業務データを利活用できる体制を整え、学術・研究機関とも連携を。路上生活者への自立支援の強化を。増加傾向にある带状疱疹等の予防対策の啓発を。電話リレーサービスの社会全体への周知を。より多様な世帯等が活用できる区民ひろばの整備を。地域の声を踏まえた立教通りの整備を。フードシェアリングの啓発と登録店舗拡充の取組を。健康増進にもつながるウォーカーブルな街づくりを。高校生等への医療費助成の早期実現を。トキワ荘マンガミュージアムの企画展の更なる充実を。区立幼稚園の認定ことも園化を。小・中学校のタブレットPCの有効活用を。

## 日本共産党

22年度一般会計予算に反対する。

第1にコロナ禍で一層困難な区民需要にこたえる予算ではない。コロナ対策として必要なPCR検査センターの再開はなし。この間、二度の消費税増税とコロナで苦しむ中小業者へ区独自の補償はない。教育の私費負担軽減のための就学援助拡充や給食費の無償化はなし。子ども医療費無料化の18歳までの所得制限なしでの拡充もない。介護事業所への独自支援や、障害者グループホームの増設はなし。公営住宅増設や家賃補助の抜本的拡大もなし。災害時要援護者避難計画作成にも予算もつけていない。

第2にコロナ禍で不要不急の事業を進めている。市街地再開発には多額の税金をつぎ込み、住み慣れた住民が地域から追い出されている。立教通り無電柱化、味楽百貨店整備等は最優先にやるべきものではない。乗車人数も少ないイケアバスに多大な支出をしている。3特別会計について、保険料値上げの国民健康保険と後期高齢者医療、特養建設の延期や利用者負担増を押し付ける介護保険に反対。

## 無所属の会

コロナ感染症の終息が見通せない中、未来の区民生活を見直し、真に苦しい区民生活の実態に寄り添った予算編成になっているかに注視し、審議に臨んだ。

主に次の意見と要望を述べた。90周年事業は、実行委員会の顧問やメンバーの男女比にも留意し多様性の担保を。区HPは将来に向けた再構築の検討を。生きづらさを抱える人への、相談の総合窓口設置や専門家による伴走支援を。高齢者クラブ連合会創立60周年記念事業に必要なサポートを。イケアバス運行の維持費は予算計画に入れ込みを。高南小学校別棟整備について、今後は区民参加の説明会開催を。都市交流は量より質の重視を。税を収納する際は、コロナ禍で困難な生活を余儀なくされている方に特に寄り添う対応を。介護職員処遇改善加算の介護報酬への転嫁について、介護保険制度がもたないと様々な機会が発言を。

## 立憲としま

行政のスリム化・効率化を主眼に各事業が区民ニーズに即し、満足度向上につながるかという観点で審査。歳入の見直しについては懐疑的である。コロナ感染症等の負の影響が出た際の対処への準備を望む。区制施行90周年記念事業は、区民にとって本当に必要な事業を、歳入やコロナ感染症の状況を鑑みながら執行を。公共施設等マネジメントについて、人口減少も見据えた今後の在り方を模索し、更新需要や大規模改修等への財政的な手当を望む。町会活動は、役員も含めた構成員のモチベーションアップに向けた働きかけを。ファミリーズマーケットは経済・社会・環境の好循環を生み出す自治体SDGsモデル事業の第1号として、再開時に更なる好循環を生み出すことを期待。経営的に厳しい保育園のための対応策の展開を望む。

本区がこれからも「住み続けたいまち」として選ばれることを期待し、令和4年度一般会計予算及び補正予算第1号並びに3特別会計予算について、懸念項目はあるものの、概ね良として賛成する。

## 無所属元気の会

予算の深い理解のため、SDGs・DX・コロナを担当する理事者が極力全審査日に出席するよう要望。

款別審査では、次の内容等を提言・要望。シニア世代においても最も使われているSNS、LINEでの情報発信と豊島区公式LINEの活用推進・啓発で、誰一人取り残さない行政情報の周知を要望する。フリーデリバリーサービス業者の登録制による安心できるウォーカーブルな街づくりの実現。リサイクルセンターでのベビー用品のリユース。商店街プレミアム商品券は前回その8割が大型量販店だったことから、今回は中小事業者へもしっかりと利用されるような制度設計を要望する。11歳以下の児童へのワクチン接種では接種判断のための情報提供の強化。歳入では、NFT等の技術を活用した基本税収以外の歳入モデルの策定、専門人材の長期的視野での育成を提言。